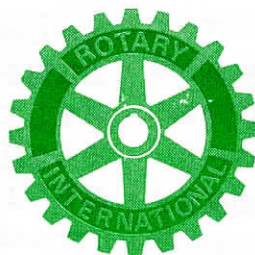


柏西ロータリークラブ会報



CLUB
REPORT

第2790地区
創立 1975. 11. 7
承認 1975. 11. 24

ROTARY CLUB OF KASHIWA-NISHI CHIBA JAPAN

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



会長 嶋田 英明
幹事 神林 聖光

会報 第1587号 (2009. 4. 10)

〈第1614回 例会〉

〈第1614回例会〉 2009. 4. 10

1. 点 鐘 嶋田英明会長
1. 会長報告 嶋田英明会長
1. 幹事報告 神林聖光幹事
1. 卓 話 江角浩安先生
(国立がんセンター東病院院長)
1. 点 鐘 嶋田英明会長

〈会長報告〉 嶋田英明会長

先週からのこの1週間は公式の行事が有りませんでした。残り8回が通常例会です。とても淋しい気がすると共に、やり残しが無いかと心配で一杯です。しかし、個人的には総会2つの入学式となかなか忙しかったです。桜の花が満開の入学式は久しぶりに良いものだと思感しました。子供達も思い出に残って居るのではないかと考えております。

来週は4月22日の10分区ゴルフ夜間例会となります。17日は休会です。ゴルフの参加の方は練習をして臨んでいただければと思います。夜の例会は前にも言いました様に全員登録ですから、なるべく沢山の方が参加して頂ければ会費の無駄使いが少なくなると思

いますので調整できる方は宜しくお願い致します。

先日東京西ロータリークラブから「西クラブの歌」と云うのが有るとの案内が届きました。今は亡き藤山一郎さんが在籍されていたクラブで1968年に作った歌だそうです。

精神(こころ)はひとつ 奉仕の思想

集(つど)いしわれら ここに在(あり)

西ロータリー 西ロータリー 西ロータリークラブ

元気でまた会おう 金曜日

となっております。当クラブで使うかどうかはわかりませんが、おもしろい事では無いかと思えます。

全国では2316クラブの内120のクラブで西を使っております。ちなみに2790地区では当クラブを入れて4クラブです。

〈幹事報告〉 神林聖光 幹事

1. 2009年度米山カウンセラー・米山奨学生オリエンテーションの案内

日時 5月9日(土) 14:00~18:30

場所 ペリエホール

例会日 金曜日 12:30~13:30
 例会場 ザ・クレストホテル柏
 〒277-0842 柏市末広町14-1
 TEL 04-7146-1111 FAX 04-7146-2100

事務所 〒277-0011 柏市東上町7-18
 柏商工会議所会館505
 TEL 04-7162-2323 FAX 04-7166-8282

2. 例会変更のお知らせ

沼南RC：4/23(木)は 4/22(水)の「第 10
分区合同例会及び親睦ゴルフ」
に振替
：4/30(木)は 4/29(水)の夜間例会
に変更

【今後の予定】

* 4/24(金)《通常例会》

卓話＝木村和俊会員「裁判員制度について」

卓 話

「がんの予防は 健康対策の重要課題です」

国立がんセンター東病院

院長 江角浩安 先生



ご紹介いただきました江角浩安です。昭和 23 年生まれ、団塊の世代です。

さんざん働いて今は、邪魔者にされつつある不幸な世代なのです。

35 年前に名古屋で医学部を卒業しまして 3 年程しまして国立がんセンターへ行き長く研究をしてきましたが、その後一時皮膚科の医者をしてました。そのころの仲間が柏の斉藤皮膚科医院です。

また、がんセンターにもどりまして現在 国立がんセンター東病院の院長をしています。東病院は、17 年前に荒地であった柏の葉にできました。現在 425 ベッドがございます。そこで年間 7000 名の新しい患者さんのお世話をしています。現在年間 100 万人の方々が病気で亡くなりますが、そのうち 37 万人、約 1/3 の方が、がんで亡くなります。

がんの話をするといいますと、がんにならない為に何をするかという話になります。それは、これをしてはいけない、あれをしてはいけないと、そんな話になりがちですが、少しはやる気になる話をします。

がんは、学問的には、今、環境の問題や生活習慣の問題もあるのではないと言われるようになってきました。つまり、生活の習慣を変えることでがんを抑えることが出来るのではないかとされています。昨年よりメタボリックシンドロームの検診が始まりました。確かに太っていると動脈硬化が起こったり、そのために血圧が上がったり、あるいは心臓がやられたりします。最近太っていると、がんも多いと分かってきました。

築地に「がん予防検診センター」がございます。ここで自分は、健康であるという方でも調べますとポリープがある方がいます。ポリープの数の多い方は、血中の脂肪が高いという結果がでます。

日本人も 1960 年代から 70 年代になると食事が肉食が増え脂肪分を取るようになり、大腸がんが増えてきました。

太っている方は、スポーツジムなどで適度の運動をして体重を落とし血液のコレステロール値を下げるのが大切です。

私の研究室では、食道がんの研究もしています。アルコールと食道がんの関係を調べてます。(中略)

厚生労働省のホームページによりますと、一日に飲んでよいアルコールは、ビール 1 本、酒 1 合です。これは、なかなか守るのが難しいですが、これ以上飲んだら水を飲んで下さい。水を飲むと血中のアルトアルデヒドが下がります。これが今日の私の提案です。がんになったかならないかと心配する前に早めに検診を受けるということをおすすめします。

築地の国立がんセンター、がん予防・検診研究センターでは、40 歳以上の方を対象に検診を行っています。検診内容は、肺、肝臓、膵臓、胆嚢、腎臓、前立腺、そして胃、食道、大腸の内視鏡検査、また、女性は別に加わります。料金は、男性 189,000 円、女性 225,750 円(同ホームページ参照)です。検査後のデータでは、何も異常のない方でも 20 人に一人、つまり、5%の方に何らかの異常が見つかります。

がんは、早く見つければ治ります。

早期の検診をお勧めします。

〈ビジター〉

- ・ 則内健司様 (京都モーニング)
- ・ 江角浩安様 (国立がんセンター)

〈ニコニコBOX〉

- ・ 本人誕生日 秋元慶一 会員
- ・ 写真ありがとう 金本元章 会員
- ・ スペインにハーフの孫が誕生しました。スペイン語の勉強を始めます。
天皇皇后両陛下御成婚 50 年を祝して、逗子の孫が小学校一年生入学 中村博亘 会員
- ・ 息子結婚しました 飯合幸夫 会員
- ・ 染谷・森下会員の葬儀お手伝いありがとう
金本元章 会員

〈出席報告〉

会員数 55 名 欠席者 14 名 出席率 74.54%

欠席者

- ・ 荒井 隆、小澤邦治、榊 隆夫、
佐藤尚文、杉山 智、染谷照夫、
高田住男、田中一成、中村佳弘、
日暮 誠、富士川明、松本ユミ、
森市直樹、渡邊雅志

前回欠席者メーキャップ会員 1 名

修正出席率 74.07%

追 想

故 森 下 俊 夫 会 員

クラブ会報委員 田 代 健 一

去る 3 月 16 日は、故染谷会員と故森下会員のご葬儀が重なりとても長く辛い忘れられない一日となりました。

故森下会員の告別式会場に置かれていました平成 14 年に刊行された「税理士・公認会計士の会員報」のコピーを先日拝読し、知られざる故人の人生、歴史に触れることができ感動を覚えました。ここにその一部をご紹介します。

『私を語る』森下俊夫より

* 生まれは浅草、足袋屋職人の息子

生まれは浅草の清川。昭和 6 年 8 月 4 日に生を受けた。これでも江戸っこの端くれ。いまでも浅草の商店街の真ん中に空き家の住まいがあって、アサヒ会商店街振興組合の理事をしている。現在

は千葉県野田市で暮らしているが、本籍はまだ浅草清川 1 の 5 の 2 まあ浅草といっても外れも外れの場末の商店街。今じゃめっきり廃れちゃった。

うちの親父は足袋屋の職人。名前は森下芳明。店の名前は「玉記屋」。又聞きでは足袋職人としては腕がよくて有名だったらしい。

(中略)

* 流山に疎開、そして母の死

十歳のとき、大平洋戦争が始まった。戦況も押し迫った昭和 18 年、お袋の田舎の流山に子どもたちだけが疎開した。食うものも食えなくてね。線路の上に落ちていた“こうりゃん”を拾って食べた記憶もある。長男だからそれなりの責任感もあった。でも手伝ってくれる知り合いもいて、朝から晩まで外でよく遊んだ。さみしいなんて思ったことは一度もない。うちは教育とは無縁の家風で、お金も出さなきゃ口も出さない。勉強のことで怒られたこともない。もう放任の一点張り。商人の家だから教育なんてありゃしない。悪いことをしたら追いまわされて、それでおしまい。それでも学校の成績は、小・中・高を振り返っても結構良かった。

昭和 19 年、十二歳で旧制東葛中学校に入學。ちなみに倅も東葛高校、親子二代でお世話になっている。

昭和 22 年、私が十六歳の時、お袋が肋膜炎の結核で他界した。お袋は、流山の農家の出で、親父の言うことをいつも「はいはい」と聞いていた。享年四十二。あの頃の医学と栄養事情じゃ治らなかった。子供四人も残して死ぬに死にきれなかったのではないかと思う。とにかく当時は、自分のことで必死だった。十六の子供では、その現実を受け止めるだけで精一杯だった。もう人並みに学校に行く事はできない。だから自分で働いて勉強しようと思った。親がいることはありがたい。親孝行したくたっていねえもんな。だからこうして無事しているのが、せめてもの親孝行かと思っている。

* 昼間は税務官吏で夜は大学へ

大学の学費は自分で捻出した。東葛中学校卒業後、十七から二十歳まで松戸税務署で 3 年、足立税務署で 1 年働いた。そして夜は、日本大学経済学部の夜間部で勉強。戦後すぐの税務署はいろいろなことがあってね。毎日徴税業務に従事してい

たが、ちょうど青色申告制度が出来た頃で、共産党の反税運動が激しくて、足立税務署では火炎瓶が投げ込まれた。ちなみに正採用だと大蔵事務官だが、その資格試験は二十歳にならないと無理。それで成人と同時にその資格を取ったものの、その後1年で退職。

(中略)

*私には5つのふるさどがある

昭和30年12月、猛勉強の末、第5回税理士試験に二十三歳で合格。もちろんその間、日本橋のYシャツ屋で働いたり、家業の用品屋も手伝った。昼間働いて、夜勉強。参考書も乏しく、専門学校もなく独学。電卓もないから全部筆算。まさしく自分の手と頭で汗を流して合格した。そして昭和31年7月、浅草で事務所を開業、勤務税理士も経ずいきなり始めたのは、勇気があるというより喰うためにそれしかなかったから。戦後、片っ端から法人が設立され、税理士業の需要はうなぎのぼり。いってみれば一番いい時期。親父が喜んだかどうか知らない。まあ喰えてよかったねという感じ。そのうちに知り合いの要請で、野田市にある会計事務所の所長が引退するというので、その17の顧問先を引き受けることになった。当時浅草一野田間を結ぶバスがあって、よく行き来をした。そしてたまたま女房の実家ということもあり、ついに開業8年目で野田の地に事務所を移転した。だから私は5つのふるさどがある。生まれ故郷の浅草。疎開先の流山、東葛中学校のある柏、税務署勤務地の松戸、そして現在の野田。全部、私のふるさと。そこに友達がいて、お客さんになってくれたり、仕事を紹介してくれたりして、みんな私を助けてくれた。

(中略)

*無料の仕事が本当の仕事

裸になっても生きられるという腹が常にある。戦中戦後の時代を生きてきたから、銭がなくなっても平気だという無意識の開き直りがある。それとつらいことがあってもあまり悪くならない性格。だいいち自分の周りには、そんな悪い奴は集まってこない。いい仲間がたくさんいて、それが私の財産となっている。

仕事というのは、無料の仕事が本当の仕事のような気がしている。損得なしの仕事だと相手もことのほか感謝してくれる。感謝が集まれば

自分の仕事も増える。それが私の「自利利他」。これは計算してやることではなくて、森下一人の働きでだれかが喜んでくれたら、素直に嬉しいのさ。時代にも、仲間にも、職員にも恵まれました。みんなに感謝している。

紙面の関係で「私を語る」は、一部省略してご紹介しました。故人は、先年奥様を亡くされました。生前は、お二人で桜木神社という創建千五百年の神社に何十年も夫婦でお参りをされたそうです。今は、またお二人で仲良くおくらしのことでしょう。合掌。

《新入会員紹介》

氏名 あき やま ひろ あき 秋山弘昭様
生年月日 昭和27年7月3日
自宅住所 〒224-0037
横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-209
事業所名 (株)高島屋柏店
事業所所在地 〒277-8666 柏市末広町3-16
電話番号FAX番 04-7144-1111 04-7147-6390
役職名 店長
職業分類 百貨店
家族 妻、二男
趣味 音楽鑑賞
推薦者 飯合幸夫会員

